

湯の郷まるごてら号

取り組みに至る背景・事業の目的

観光客のニーズが多様化する中で、旅行の形態も小エリアでの観光・体験といった形に変わってきている。数々の名勝や温泉、スキーなどさまざまな観光資源を有する山ノ内町には、こうした小エリアでの観光・体験にふさわしい魅力があふれている。

そこで、こうした観光資源を周遊するシャトルバス「まるごてら号」（「まるごてら」とは地元の言葉で「まるごと全部」の意）を新たに運行して、その魅力を効率的かつ分かりやすく伝えることにより、観光客の満足度を高め、滞在型・連泊型の観光を更に推進したいと考えた。

事業内容

4月末から9月末までの土日・祝日、お盆期間などに午前3回、午後3回の1日計6回町内の観光地を案内するシャトルバス「まるごてら号」を運行した。（参加料300円）

ルートは、地獄谷野猿公苑をはじめとする観光スポットや湯田中渋温泉郷の大湯、四季折々の花の名所、旬の果物狩り、農産物直売所など、その時々が一番お勧めの場所を回り、ガイドが丁寧に分かりやすく案内している。

中でも、湯田中渋温泉郷の宿の女将がバスに乗車してとっておきの観光スポットを案内する「女将便」、夜桜ライトアップなどを堪能する「ナイト便」などの特別便は、参加者にも大変好評を博している。



事業効果

- 平成19年度は3,574人の利用者があり、利用者にはバラエティに富んだ山ノ内の魅力を存分に楽しんでいただき、参加者からは「ガイドブックではわからない、地域の人ならではの情報を教えてくれて良かった」との声も寄せられるなど、その満足度を高めることができた。
- 町内の各地域、異業種間の連携が進み、協力体制を構築できたことにより、地域の活力と元気づくりにつなげることができた。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取り組みなど

- 利用者の反応が良かったことから、平成20年度も独自事業として引き続き展開している。
- 平成19年度は告知や宣伝を十分に行えなかったことから、魅力が十分に伝わりかつ訴求力の高い情報発信を展開し、より多くの観光客に利用してもらいたいと考えている。

【選定のポイント】

地域の観光資源を有機的に結びつけることにより観光振興と地域の連携強化を推進した。

団体名	山ノ内町観光連盟（山ノ内町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 電話 0269-33-2138	事業費	7,217,000円
メール	renmei@info-yamanouchi.net	支援金額	2,300,000円